

試料・情報の利用に関する説明書

岐阜県総合医療センターで保管されている試料・情報を研究のために使用する件について、概要を以下に示します。研究に関するお問い合わせは下記の担当者にお申し出ください。

研究名：ICUに入室する院内急変症例の死亡の有無における急変直前と急変24時間前のNEWSの検討

○研究責任者

岐阜県総合医療センター 看護部 名前 八田 大

研究共同者

岐阜県総合医療センター	循環器内科	副院長	野田	俊之
	循環器内科	副院長	荒井	正純
	集中治療室・救急科	副院長	豊田	泉
	集中治療室・麻酔科	部長	山本	拓巳
	集中治療室・循環器内科	部長	森下	健太郎
	集中治療室・麻酔科		鈴木	悠介
	呼吸サポート部	主査	森	輝樹
	呼吸サポート部	主任	石原	敦司
	看護部	師長	古川	恵
	看護部	師長	亀山	美祈
	看護部		柚原	杏圭

1. 研究の目的と意義

ICUに入室する院内急変患者様の死亡率は比較的高く、急変前早期に介入し、急変を防ぐことが重要です。早期に介入するためには、急変の兆候を捉える必要性があり、兆候を捉える指標の一つとしてNational Early Warning Score (NEWS)が近年注目されています。そこで、今回は過去に急変しICUへ入室した患者様を対象にNEWSをもとに分析し、急変の兆候について検討することを目的としています。

2. 研究の方法

院内急変によりICUへ入室した患者様の急変前の血圧などバイタルサインを収集し、NEWSの点数や該当する割合を算出します。また、それらのデータを

患者様の転帰をもとに振り分け、転帰毎の特徴的な指標について検討します。

3. 対象となる患者さん

2023年04月から2025年03月の2年間にICUへ入室した1227名のうち、院内急変により入室した62例の患者様。

4. 研究の期間

2023年04月01日～2028年03月31日

5. 研究に関わる倫理的配慮について

①個人情報の保護について

本研究で使用するいずれのデータも個人情報に関するデータとなるため、得られた情報は匿名化して、院内のPC共有ファイルに保管します。

②研究への同意について

今回の研究は当院の単施設後向き研究です。使用する評価内容は一般診療において実施すべき内容であり、試薬等を用いた研究ではないことを考慮し、本人及び家族の同意は必要としない。

6. 研究に関する情報公開

第53回 日本集中治療医学会 学術集会 及び 関連する学会にて発表を予定しています。また、学術論文として投稿することも考慮しています。

7. その他

本研究に関して院外事業者等との関連はありません。また、保険適応範囲内にて調査を実施しますので、ご参加頂くにあたって、費用負担が通常の診療より増えることはありません。一方で本研究に参加して頂くことによる謝礼や保険診療以外の特別な補償はありません。

最後に本研究に関連して、あなたの安全性や研究への参加の意思に影響を与えるような新たな情報が得られた場合はすみやかにお伝えします。本研究に関して何か聞きたいことやわからないこと、心配なことがありましたら研究責任者におたずねください。

<< 問い合わせ・苦情の受付先 >>

研究責任者 岐阜県総合医療センター 看護部
〒500-8717 岐阜県岐阜市野一色 4-6-1

八田 大 (8488)

TEL 052-246-1111

Mail zpxxxx60@gmail.com